

終わりなき挑戦

小見川香代子

お笑い芸人と大学教授

何の接点もないような組み合わせに、興味津々で授業に臨んだ。

人の目は2つある。

でもその2つの目を通して見るものは、違う。

そして、見て感じるものももっと違う。

多くの体験の中から、様々な感情を持つことは、人に対する配慮や自分への大きな自信に繋がるものなのかもしれない。

人間万事塞翁が馬

ふと、この意味を思い出す。

そのときは不必要に思っているも、後になって役立つこともある。

案外、そういうことの方が多いのかもしれない。

だから、いろいろなことへの挑戦は、自分の導かれるその先への準備なんだと思える。

殺伐とした世の中で、相手の利益を自分の満足と思うことは少ない。

しかし、見方を変えて自分の満足につなげる考え方や行動は、多くの経験と挫折と葛藤の中から生まれてくるものだろう。

そして、いつでも前を向き、なりたい自分を探し続けること、その上で導かれる情熱は、私のところを揺さぶる。

何にでもなれる！

何でもできる！

出来なくても、自分らしくいられる場所に導かれる！

導かれるというより、「出会う」という言葉の方が適切なのかもしれない。

人の言葉に耳を傾け、観察し、自分のできることを行動すること……

簡単なようで、難しい。

人が好きでなければできないことだ。

私は、その行動力に、多くの勇気と感動をいただいた。